

一般社団法人日本鉱物科学会
2020年度 定時社員総会 議事録

1. 開催日時：2021年9月17日（金）午前9時00分から午前10時30分
2. 開催場所：広島大学東広島キャンパス理学部E棟1階 E102教室
(〒739-8526 東広島市鏡山 1 - 3 - 1)
3. 出席役員：

会長(代表理事)：宮脇律郎， 副会長(代表理事)：大和田正明

理事：

安東淳一， 阿部なつ江（富士原なつ江）， 井上 徹， 池田 剛， 磯部博志， 大藤弘明，
鍵 裕之， 片山郁夫， 川本竜彦， 河上哲生， 栗林貴弘， 黒澤正紀， 辻森 樹，
永嶋真理子， 伴 雅雄， 三宅 亮， 塚本尚義， 吉朝 朗， 永井隆哉
(欠席理事：長瀬敏郎， 土屋範芳)

監事：小暮敏博

4. 議長：川本竜彦 理事
5. 議事録作成者 黒澤正紀 理事
6. 議事の経過の要領及びその結果

- (1) 議長選出：定刻に至り，一般社団法人日本鉱物科学会宮脇律郎会長が，定款第15条により議長の選任について諮ったところ，川本竜彦会員の推薦があり，満場一致をもって議長に選出された。
- (2) 開会宣言：宮脇会長が、本総会はテレビ会議システム（ZOOM：ズーム）を併用して開催する旨を述べ、社員（当法人の正会員又は名誉会員）のうちZOOMを使用するのオンライン出席者の通信状況（出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，出席者が一堂に会するのと同様の適時的確な意見表明が互いにできる状態）が正常であることの確認とZOOM利用のお願いなどを再確認して，一般社団法人日本鉱物科学会2020年度定時総会の開会を宣言した。
- (3) 定足数の確認：川本竜彦議長により，定足数の確認および出席者数の確認が行われ，下記の定足数に足る社員の出席があったので，川本竜彦議長は議事に入った。

議決権のある社員数：842名

この議決権の総数： 842個（定足数85人）

出席社員数： 190名

(内訳)本人出席120人（会場3人 + ZOOM出席117人）

+ 書面70人[代履行行使(52人) + 書面議決権行使(18人)]

この議決権の総数： 190個

- (4) 物故会員(床次正安名誉会員,黒田吉益永年会員)への黙祷がなされた。

報告事項

1. 2020年度（一般社団法人第5期 2020年8月1日～2021年7月31日）事業報告

宮脇律郎会長より2020年度一般社団法人日本鉱物科学会の活動について概要報告の前に、以下の感謝と今後について挨拶があった。

このたびの2021年年会について、昨年来のCOVID-19禍の状況変化に対応できるように、広島大学での現地開催とオンライン開催のハイブリッド方式で準備をいただきましたが、厳しい状況の中、完全オンライン開催となりました。このような中、研究成果の公表や今後の研究進展のための討論の場が維持されたこと、また、鉱物科学及びこれに関連する諸分野の学問の進歩と普及に向けた学会の姿勢が健全であることを示していただいたことに、改めて開催にご尽力をいただいた広島大学LOCの皆様、そしてたくさんの参加者の皆様に感謝が述べられた。

また、ご存知のように、本会の学会運営は大変厳しい状況にありこの1年間、執行部、理事は、学会事業の見直しを検討し、まずは、学会誌の完全電子化による財政の健全化を図る案を策定し、会員の皆様に提示しました。この後、検討をさらに進め、学術活動に専念できる体制を整え、会員のみならず、社会にも貢献する活気を取り戻していくことが伝えられた。

次に、2020年度第3回定例理事会(2021年8月28日開催)において2020年度事業報告として承認された下記個別事業報告について、会長が各業務を一任している各担当者から総会資料に基づき報告説明がなされた。(総会資料参照)

1. 和文誌（岩石鉱物科学）、英文誌（Journal of Mineralogical and Petrological Sciences）、その他の冊子版、電子版による発行事業

- (1) 和文誌（岩石鉱物科学）編集報告（長瀬和文誌編集幹事・理事 代理 高澤栄一副委員長）
- (2) 英文誌（JMPS）編集報告（吉朝英文誌編集幹事・理事）

2. 総会、講演会、研究部会、その他学術に関する集会及び行事の開催事業

- (1) 行事報告・年会報告（磯部行事幹事・理事）
- (2) 広報報告（大藤広報幹事・理事）
- (3) 渉外報告（永島渉外幹事・理事）
- (4) Elements報告（森下Elements幹事）

3. 研究の奨励及び業績の表彰（黒澤庶務幹事・理事）

- (1) 2020年度日本鉱物科学会賞表彰
- (2) 渡邊萬次郎賞表彰
- (3) 2020年度日本鉱物科学会論文賞表彰
- (4) 2020年度日本鉱物科学会研究奨励賞表彰
- (5) 2020年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞表彰
- (6) 2020年度JMPS学生論文賞受賞論文表彰
- (7) 2020年年会研究発表優秀賞表彰

4. 本会の目的を達成するために必要な事業

- (1) 庶務報告（黒澤庶務幹事・理事）
- (2) 将来企画委員会報告（大和田委員長・副会長）
- (3) JpGU 2021年学会選出プログラム委員報告（門馬委員長）
- (4) 地惑連合報告（阿部連絡担当委員・理事）
- (5) 学術会議報告（西山学術会議連携会員）

- (6) 教育普及委員会報告（林信太郎委員長）
- (7) 博物館委員会報告（坂野委員長）
- (8) 新鉱物・命名・分類委員会報告（門馬委員長）
- (9) 研究部会継続申請と報告：研究部会「岩石 - 水相互作用」(土屋代表, 代理川本理事)
- (10) 会員報告（阿部会員幹事・理事）
- (11) 細則等検討委員会報告（大和田細則等検討特務幹事・理事）

． 2021年度（一般社団法人第6期）事業計画書及び収支予算案などの件

- 1．宮協会長により，2020年度第3回定例理事会（2021年8月28日開催）にて承認された，下記2021年度事業計画が紹介され，第6期も継続していくことが紹介された。

編集事業：岩石鉱物科学、Journal of Mineralogical and Petrological Sciencesの発行

行事事業：2022年年会（新潟大学）の開催と2021年度定時社員総会の開催，一般普及講演，各賞の表彰事業

その他本会の目的を達成するために必要な事業

また，第5期の1年間，執行部，理事は，学会事業の見直しを検討し，学会誌の完全電子化による財政の健全化を図る案を策定し，会員の皆様に提示してきましたが，第6期においても引き続き検討をさらに進め，学術活動に専念できる体制を整え，会員のみならず，社会にも貢献する活気を取り戻すよう進めていくこと。

- 2．同じく第3回定例理事会で承認された2021年度収支予算書について，栗林会計幹事から配布資料に基づいて説明がなされ，紹介された。

．その他

その他の報告は無かった。

決議事項

- ． 第1号議案 2020年度（一般社団法人第5期）事業報告，決算承認の件
（宮協会長 説明：栗林会計幹事・理事， 監査報告：小暮監事）

- 1．表記の議題について，宮協会長に代わり，栗林会計幹事・理事から，議案書に基づき2020年度（一般社団法人第5期）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）及びこれらの財務諸表に対する注記，附属証明書について，配布資料に基づいて説明がなされた。
- 2．小暮監事から，総会招集通知の監査報告書に記載の通り，会計，事業，理事の業務に関し，いずれも適正に執行されていることが確認された旨，監査報告書が読み上げられ報告された。
- 3．川本議長が本議案について賛否を諮ったところ，原案は満場一致をもって異議なく承認可決された。

- ． 第2号議案 理事の辞任に伴う理事1名の選任の件（宮協会長）

宮協会長から，表記議題，長瀬敏郎理事(東北大学)の辞任(2021年9月17日付)に伴う新たな理事の選任について，この理事候補者として昨年度の役員選挙次点者，永井隆哉氏(北海道大学大学院理学研究院)を本日付で理事に選任した旨の説明がなされた。

川本議長が本議案について賛否を諮ったところ，原案は満場一致をもって異議なく承認可決された。

なお、選任された永井隆哉氏は席上理事就任を承諾する旨の意思を表明した。任期は、定款第23条第3項の規定により、前任者の任期の満了する時まで、2022年9月に開催する2021年度定時総会終了までとなる。

第3号議案 会員会費規定第5条の改正の件（大和田副会長）

大和田副会長から、現在進めている2022年1月からのJMPS誌及びGKK誌の電子ジャーナル化移行に伴う様々な課題のうちの重要な課題として、会員会費規定第5条の一部改正の内容について説明がなされた。川本議長が本議案について賛否を諮ったところ、原案は満場一致をもって異議なく承認可決された。

会員会費規定の第5条の改正の件

<改正>

第5条 本会の会員は、会員区分に応じ以下に定める年会費を納付しなければならない。

(1) 一般会員 9,000 円、学生会員 4,000 円、シニア会員 7,000 円、名誉会員・永年会員：無料

(2) 賛助会員：1 口 20,000 円

2 シニア会員は、申し出によって、雑誌Elementsの受領を辞退することができる。その場合のシニア会員の会費は、5,000 円。

(附則)

本規程は、一般社団法人日本鉱物科学会設立の登記日に遡って適用されるものとする。

平成30年9月20日改正。この改正は、2019年8月1日から実施する。

2021年9月17日改正。2021年8月1日に遡り適用されるものとする。

授賞式

各選考委員会委員長から選考結果が報告され、宮脇会長から下記受賞者一人一人に賞状が読み上げられ、記念品が紹介された。また、各受賞者に、受賞の一言を述べていただいた。

一、2020年度日本鉱物科学会賞授与（土屋委員長 代理黒澤庶務幹事）

第24回受賞者：三河内 岳 会員（東京大学 総合研究博物館 研究部）

業績題目：地球外物質の鉱物学的研究による太陽系における天体進化プロセスの解明

第25回受賞者：辻森 樹 会員（東北大学 東北アジア研究センター）

業績題目：プレート境界岩総合解析によるオロゲン地質記録と変成プロセスの研究

一、渡邊萬次郎賞授与（黒澤委員長）

第37回受賞者：溝田 忠人 永年会員

一、2020年度日本鉱物科学会論文賞授与（富岡委員長）

第23回受賞論文: High-temperature Raman spectroscopic study of CO₂-containing melanophlogite, JMPS, 114, 122-129, 2019. Author: Masami KANZAKI

受賞者：神崎正美会員

第24回受賞論文: High resolution X-ray computed tomography and scanning electron microscopy studies of ultradevice solid inclusions in Oman podiform chromitite: implications for post-entrapment modification, JMPS, 115, 247 - 260, 2020. Authors: Yuan YAO, Eiichi

TAKAZAWA, Sayantani CHATTERJEE, Antonin RICHARD, Christophe MORLOT, Laura CRÉON, Salim AL-BUSAIDI, Katsuyoshi MICHIBAYASHI, Oman Drilling Project Science Team

受賞者：高澤栄一会員、道林克禎会員

一、2020年度日本鉱物科学会研究奨励賞授与（河上副委員長）

第29回受賞者：田阪 美樹会員（静岡大学理学部地球科学科）

研究対象：マントルにおける物質移動メカニズムを解明するための岩石鉱物物理研究

第30回受賞者：瀧川 晶会員（東京大学大学院理学系研究科）

研究対象：「銀河系における物質循環に関する研究」

一、2020年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与（佐藤委員長）

第13回受賞者：田村 堅志 氏（国立研究開発法人物質・材料研究機構）

受賞題目：雲母・粘土鉱物を応用したナノコンポジット材料と有害物質吸着剤の開発

一、2020年度JMPS 学生論文賞授与（河上委員長）

第11回受賞論文：Keisuke ESHIMA, Masaaki OWADA and Atsushi KAMEI, Assimilation and fractional crystallization of Sanukitic high-Mg andesite-derived magmas, Kyushu Island, southwest Japan: An example of the Cretaceous Shaku-dake diorite body. JMPS, 115-4, 323-347, 2020.

受賞者：江島 圭祐（投稿時：山口大D1）

第12回受賞論文：Dyuti Prakash SARKAR, Jun-ichi ANDO, Kaushik DAS, Anupam CHATTOPADHYAY, Gautam GHOSH, Kenji SHIMIZU and Hiroaki OHFUJI, Serpentinite enigma of the Rakhabdev lineament in western India: Origin, deformation characterization and tectonic implications. JMPS, 115-2, 216-226, 2020.

受賞者：SARKAR Dyuti Prakash（投稿時：広島大D3）

閉 会

以上をもって、テレビ会議システム（ZOOM：ズーム）を併用した本総会は終始異状無くすべての議事を終了したので、議長は午前10時30分に閉会を宣した。

上記の議事の要領及び結果を明確にするため、議事録作成者がこの議事録を作成し、定款第18条第2項に規定されている総会に出席した正会員より選出された議事録署名人（1名以上）が次に記名、押印する。

令和3(2021年)年9月17日

一般社団法人日本鉱物科学会 2020年度定時社員総会

理事 黒澤 正紀 印
（配布時押印省略）